

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告 書

I 概況

1. 来館者

2024 年度もプロ野球界、アマチュア野球界とも盛り上がったシーズンでした。当館も国内外問わず多くのお客様で賑わいました。

さて、今年度の当館の活動ですが、プロ野球 90 周年や阪神甲子園球場開場 100 周年を記念した展示を始め、NPB とのコラボレーション企画「野球の学校 2024」では NPB 野球規則委員の友寄正人氏、元プロ野球審判員の井野修氏を迎えてのトークイベント、小学生向けの「野球で自由研究！」でもイベントを各種開催し、野球の普及・振興に努めました。

また、当館の開館 65 周年を記念してオリジナルの水筒を作製し、開館日である 6 月 12 日に来館されたお客様へプレゼントを行い、日頃の感謝を伝えました。

3 月に東京ドームで開催された MLB 東京シリーズでも多くのお客様にご来館いただき、来館者数は予算目標の 12 万人を上回る 130,379 人となりました。

2. 維持会員

維持会員は、法人 67 社（前年比 2 社増）、個人 201 人（前年比 17 人増）、ジュニア 7 人（前年比増減無し）となりました。引き続き加入を促進し、ファン拡大に努めて参ります。

3. 野球殿堂

競技者表彰の谷繁元信氏、黒田博樹氏、特別表彰の故 谷村友一氏の表彰式は、7 月 23 日エスコンフィールド HOKKAIDO で開催されたプロ野球オールスターゲーム第 1 戦の試合開始前に行いました。

2025 年の野球殿堂入りですが、第 65 回競技者表彰委員会からイチロー氏、岩瀬仁紀氏、掛布雅之氏、第 64 回特別表彰委員会から富澤宏哉氏が選出されました。

これにより、野球殿堂入り顕彰者は、競技者表彰 108 名、特別表彰 114 名で合計 222 名となりました。

4. 普及・広報活動

野球振興につながる事案に積極的に対応し、当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力して広報に努めました。全国野球振興会(プロ野球 OB クラブ)主催の全国少年野球教室にも、当館のパンフレットを 9,000 部提供するなど、開催に協力いたしました。

5. 館外活動

球界関係、地方公共団体や類縁機関などが主催の展覧会やイベントに際し、資料の貸出に加え、企画の相談にも対応するなど積極的に協力し、野球振興を推進しまし

た。

北海道日本ハムファイターズ、大分県立歴史博物館、読売巨人軍、「プロ野球ドラフト会議」、「NPB アワーズ 2024」等の展示協力を行い合計 14 件の貸出を行いました。

また、今期はアメリカ野球殿堂博物館が開催を予定している日米野球交流に関する展示へ協力し、友好関係の強化に努めました。

6. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料：845点(前年1,298点)

②収集図書：1,370冊(前年1,985冊)

尚、資料収集に際しては、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」（原則、毎月1回開催）において協議し決定しております。

7. その他

・お客様サービス向上施策として、キャッシュレス（クレジットカード）決済の導入、映像シアターのリニューアル、館内案内の多言語化、気軽に本や雑誌を楽しんでいただける「やきゅうの本だな」の設置、カーペットの張り替えなどを行いました。

・物販の強化として、食品を取り扱うのは当館初の試みになりますが、オリジナルクッキーの販売を3月より開始しました。

・昨今の物価高に伴い10年ぶりに入館料を値上げしました。